

ボランティア・市民活動情報

2021
9月

- : プラザ催しなど
- : ボランティア・市民活動団体催しなど
- ▲ : 市民活動センターで行われる上記団体催し
- : ぼらぷら 休業日

日	曜日	催し物
1	水	市民活動センター 臨時閉館
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	BANBANしゃべろう会
14	火	点訳ボランティア初級技術講習会
15	水	
16	木	市民活動センター 休館日
17	金	高齢者ボランティアポイント説明会
18	土	みきおもちゃ病院 パソコン定期相談会
19	日	きらきら書道
20	月	コミュニケーションマージャン体験会
21	火	点訳ボランティア初級技術講習会
22	水	はじめてのZoom体験会
23	木	
24	金	高齢者ボランティアポイント説明会
25	土	きょうだいかい ふたつばクローバー はじめてのZoom体験会
26	日	
27	月	BANBANしゃべろう会
28	火	点訳ボランティア初級技術講習会 育児ファミサポってなあに講座
29	水	
30	木	

緊急事態宣言中の ボランティア活動プラザみぎでの業務について

緊急事態宣言の発令に伴い、市民活動センターは9月12日(日)まで閉館となります。新型コロナウイルス感染症拡大により、月間情報に記載している内容が中止・変更になる可能性があります。

ボランティア活動プラザみぎは【月曜日から土曜日(祝日・第3木曜日を除く) 8:30~17:15】にて業務を行っております。ボランティア保険の加入受付や、助成金・活動に関するご相談などは承っております。

お気軽にお越しください。

■ 問合せ先: ボランティア活動プラザみぎ ☎ 83-0090

失語症者とその家族の会 BANBANしゃべろう会

BANBANしゃべろう会は、失語症の方とその家族が情報交換を行いながら交流し、気軽に集える場です。お気軽にお越しください。

■ 日 時: 9月13日(月)、27日(月)
14:00~16:00

■ 会 場: 三木市立障害者総合支援センターはばたきの丘

■ 参加費: 100円

■ 問合せ先: ボランティア活動プラザみぎ ☎ 83-0090

高齢者ボランティアポイント事業 説明会

市内の施設でボランティアすることで、地域貢献や社会参加をしてみませんか? 三木市内に住む65歳以上のみなさん、お待ちしております。

■ 日 時: 毎週金曜日 9:00~10:00

■ 場 所: 三木市立市民活動センター

■ 申込先: ボランティア活動プラザみぎ ☎ 83-0090

コミュニケーションマージャン 体験会

一つの牌(パイ)がたわしサイズのコミュニケーションマージャンは、2人1組になって「頭」「身体」「口」を動かしながら、和気あいあいと皆で楽しめるレクリエーション素材として人気を集めています。「昔好きだったマージャンで、健康維持ができたらいいな!」「今度地域のふれあいサロンでやってみたくけど、ルールがわからない…」この体験会では、そんなコミュニケーションマージャンに興味のある方を対象に、コミュニケーションマージャンの楽しみ方の説明から実践までを体験することができます。家族や友人を誘って、お気軽にご参加ください。

■ 日 時: 9月20日(月・祝)
10:00~11:30

■ 会 場: 三木市立市民活動センター

■ 主 催: みきコミュニケまあ〜雀「にここ」

■ 申込・問合せ先: ボランティア活動プラザみぎ ☎ 83-0090



マガジン

ボランティア・市民活動者のための活動応援情報

(発行)
三木市社会福祉協議会
ボランティア活動プラザみぎ
〒673-0403
三木市末広 1-6-46
(市民活動センター内)
TEL 0794-83-0090
Fax 0794-82-6666
e-Mail mvsc@miki.or.jp

9

Vol.286
2021.9.1

聴覚に障がいのある方に情報を伝える活動に役立つ技術「要約筆記」を学ぼう!

要約筆記とは?

話している内容(音声の情報)を要約し、文字として伝えます。中途失聴や難聴では手話の習得が難しい場合があります。また、コロナ禍でマスクを着けることが当たり前になった近頃では、口の形を読むことも容易ではありません。そんな状況でも、生活に必要な情報や社会とのつながりを届けることができます。



病院での診察、市役所での手続き
買い物等の日常生活など、
様々な場面で必要だから…

要約筆記ボランティア 入門講座

聴覚に障がいのある方への理解を深め、話している内容の要約を文字で伝える「要約筆記」について学び、聴覚障がい者の社会参加を促進することを目的に開催します。

【日時】10/13日、20日、27日
(いずれも水曜日、10:00~12:00全3回)

【定員】10名

【会場】三木市立市民活動センター

【内容】聞こえにくいことの理解や支援の方法を学ぶ
要約筆記の体験 等

【受講料】500円(テキスト代等)

Zoom(ズーム)の最初の一步がわからないという方のための体験会を開催!

参加者募集中!

Zoom体験会



開催日時 三木市立市民活動センターにて

3回目	9月22日(水)	13:30~15:30
4回目	9月25日(土)	13:30~15:30
5回目	10月5日(火)	9:30~11:30
6回目	10月6日(水)	13:30~15:30
7回目	10月7日(木)	9:30~11:30
8回目	10月8日(金)	13:30~15:30
9回目	10月9日(土)	9:30~11:30

【定員】
各10名
※要申込

準備物
パソコン(ウェブカメラ・マイク・スピーカーがついたもの)、スマホ、タブレットのいずれか

体験会内容 ※各回とも内容は同じです。
・Zoomとは
・Zoomアプリのダウンロードから接続まで
・ウェブミーティングを体験しよう!~基本操作~

【問合せ・申込先】 ボランティア活動プラザみぎ ☎ 0794-83-0090

住民一人ひとりを地域の主役へ ～ Go・5ふれあいサロン シニア男性料理教室 ～

ボラ・プラみきの
アクション・レポート
(24)
～市民のチカラ～

◆ Go・5ふれあいサロングループの活動

7月29日、青山5丁目集会所ではGo・5ふれあいサロングループによる「第1回シニア男性料理教室」が開催されました。Go・5ふれあいサロングループは、平成17年に結成し、青山5丁目の地域住民を対象としたふれあいサロン活動に取り組んでいます。

ふれあいサロン活動とは、住民同士が互いに気遣い、見守り合う地域づくりに向けた日常のつながりづくりを推進する活動です。Go・5ふれあいサロングループのサロンボランティアは、特に一人暮らしの高齢者を気にかけて、集いの場の開催だけでなく、電話をかけたり、ついでを作っては訪問したり、電気がついていないかを通りがかりに確認するなど、見守り活動をされています。



◆ 新しい取り組み「シニア男性料理教室」

サロン参加者の中には、男性の一人暮らしで自炊をされないため、毎日自分で車を運転して惣菜等を買っている方もいます。サロンボランティアは、栄養の偏りや超高齢者による車の運転を気にかけて、何かできないかと話合いました。そして、手作りのご飯を食べてほしいという思いから、シニア男性料理教室を開催する運びとなりました。

シニア男性料理教室の先生は、もちろんサロンボランティア。初回に参加された男性は、普段からお米を炊く方もいれば、何十年ぶりに包丁を握ったという方まで様々な4名の方でした。今回のメニューは、ご飯、だし巻き卵、ほうれん草のおひたし、玉ねぎと油揚げのお味噌汁に加え、ボランティアの方々が持ち寄った季節の野菜で、豪華なお昼ご飯となりました。シニア男性料理教室では、お米の研ぎ方から食後の洗い物までを行います。昔の思い出話や、盛り付けにこだわりながら、お昼ご飯が完成しました。



シニア男性料理教室を終え、参加者の方からは、「面白かった、料理もやったらできないことはないと思った。」といった声や、「これからもしてほしい。季節のものが食べられるのが良い。」「上手にできるようになったら子ども食堂を開いてみたい。」といった声が聞かれました。

◆ ふれあいサロン活動を地域づくりにどう活かすのか

昨年、サロン参加者の一人暮らし男性高齢者が自宅で亡くなるという出来事がありました。Go・5ふれあいサロンのボランティアメンバーにとって大変ショックな出来事でした。一人暮らしの地域の住民や、サロンの男性参加者に対して、何かできないか考えました。

そして誕生したのがシニア男性料理教室。みんなで楽しく料理をすることで、料理ができるようになるだけでなく、人と関わり、つながりが生まれるといった効果はもちろん、料理の腕を活かした地域活動への参加へと可能性を広げます。自分のために始めた料理が誰かのためや地域に役立つ活動となっていくことで、やりがいや生きがいとなっていくのではないのでしょうか。Go・5ふれあいサロンでは、ふれあいサロンの集い場で何をやるのかだけでなく、地域住民の暮らしを見つめ、困りごとや課題を少しでも解決できないか考えたり、地域で暮らす誰もが主役になれる活動を起こしたりすることを目的に話し合いを丁寧に行われています。ふれあいサロン活動をきっかけに多様な主体が参画する地域づくりについて考えてみませんか？



助成金情報

助成金等名称 (申請等期日・期間)	助成内容	問合せ・申込先
公益財団法人 大和証券福祉財団 2021年度 ボランティア活動助成 〔申込締切〕 9月15日(水)	〔目的〕 高齢者・障がい児者・子ども等への支援活動および社会的意義の高いボランティア活動や、地震・豪雨等による大規模自然災害の被災者支援活動に対する助成を行う。 〔応募資格〕 5名以上で活動する営利を目的としない任意団体、NPO法人、財団法人、社団法人等 〔補助金額〕 1団体あたり上限30万円 〔問合せ先〕 公益財団法人大和証券福祉財団 事務局 〒104-0031 東京都中央区京橋1-2-1 大和八重洲ビル ☎ 03-5555-4640 ✉ fukushi@daiwa.co.jp	募集要項・申込書は、大和証券福祉財団ホームページからダウンロードできます。 https://www.daiwa-grp.jp/dsf/grant/outline.html
公益財団法人 大和証券福祉財団 2021年度 子ども支援活動助成 〔申込締切〕 9月15日(水)	〔目的〕 子どもたちに夢と笑顔を、そして輝く未来につなぐ支援活動に対する助成を行う。 〔対象〕 居場所づくり、学習支援、貧困家庭の子ども支援、育児放棄や子どもの虐待防止等の活動 〔応募資格〕 20名以上で活動する営利を目的としない任意団体、NPO法人、財団法人、社団法人等 〔補助金額〕 1団体あたり上限50万円 〔問合せ先〕 公益財団法人大和証券福祉財団 事務局 〒104-0031 東京都中央区京橋1-2-1 大和八重洲ビル ☎ 03-5555-4640 ✉ fukushi@daiwa.co.jp	募集要項・申込書は、大和証券福祉財団ホームページからダウンロードできます。 https://www.daiwa-grp.jp/dsf/grant/outline4.html

Vol. 2

コロナ禍だけ頑張るボランティア・市民活動団体 ご紹介 みき アクティブ美輝

アクティブ美輝は、毎週土曜日にナメラ商店街の一角に「なめらかカフェ」をオープンし、手打ちうどんやコーヒー、紅茶などを提供しています。なめらかカフェでうどんを打ったり、注文を聞いたりするのは、地域や社会と接点が持ちづらい若者たち。なめらかカフェはそんな人たちの居場所でもあります。

先日、昼食をいただいてきました。新型コロナウイルスの影響により、マスクをつけ、アクリル板越しにお客さんと会話したり、調理器具類や座席の消毒など対策をとりながらですが、若者たちも楽しんで活動している様子が見られました。もちろん、うどんも絶品！でした。

なめらかカフェで活動することで、若者たちはアクティブ美輝のメンバーやお客さんと交流することができ、「何かをやってみる」という参加のきっかけが持



てます。アクティブ美輝の取り組みは、若者たちが本来持つ力を発揮することをサポートし、本人らしい再スタートの一步を支えています。そのため、若者たちの居場所や参加の機会が失われることのないよう、飲食を伴う活動ではありますが、コロナ禍でもできるだけ開けていく努力を重ねています。

あるメンバーが「なめらかカフェでの活動をきっかけに、世間も怖くないと思ってもらいたい」と話してくれました。地域の誰もが気軽に訪ねることができるお店だからこそ、若者たちは地域住民と顔なじみの関係になり、その経験の積み重ねが新たな活動へのチャレンジや活動の範囲を広げる行動を生み出します。地域も若者たちを受け入れ、関わりあうことで理解につながります。なめらかカフェは、お客さんである地域住民と若者たちの力が高まる地域活動拠点であると感じました。

※ 緊急事態宣言発令等により、なめらかカフェの営業日や時間が変更となったり、休業となる場合があります。

【取材：実習生 松林 仁奈】